

# 病院だより 10月号



## 目の健康を守るために ～緑内障をご存じですか？～

士幌町国民健康保険病院  
眼科 長谷 敬太郎  
(北海道大学眼科学教室より)

### ○ 緑内障とは？

眼圧が高いことなどが原因で視神経に障がいが起こり、視野が少しずつ狭くなる病気です。

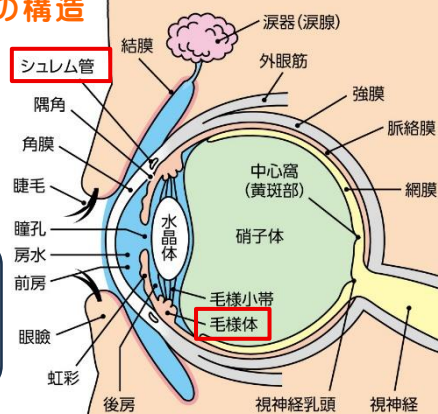
初期には自覚症状がほとんどありません。

40 歳以上の 20 人に 1 人が緑内障といわれています。

日本人の失明原因の第 1 位です。

毛様体で作られた目の中の水分(房水)はシュレム管へと流出する。  
房水の排出される量が少なくなると眼圧が上がる。  
眼圧が高い状態が続くと視神経に障がいが出て、視野障がいを生じる。

### 眼球の構造



Copyright: Santen Pharmaceutical Co., Ltd.

### ○ 放っておくとどうなる？

一度失った視野は元に戻せません。最終的には視力も失ってしまうことがあります。

早期発見・早期治療で進行を防ぐことが大切です。

### 緑内障による視野障がいの進行



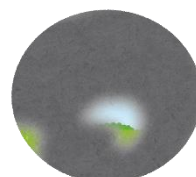
正 常



初 期



中 期



後 期

鼻側の上のあたりから視野が狭くなっていき、緑内障が進行すると、中心部分に見えない範囲が広がっていく。

### ○ こんな方は検診をおすすめします

- ・ 40 歳以上の方
- ・ 強い近視がある
- ・ 家族に緑内障の方がいる
- ・ 健診で眼圧が高いと言われた

### ○ 検査と治療

検査 視力検査、眼圧測定、眼底検査(視神経の形を確認)、視野検査

治療 点眼薬で眼圧を下げるのが基本です。状況によりレーザー治療・手術を行うこともあります。  
早く見つければ、進行を抑え「見える生活」を保てます。

### ○ 予防と治療の第一歩は「早めの受診」

「見えるから大丈夫」と思っているうちに進んでいるのが緑内障です。

年に一度は眼科で検診を受けましょう。

眼 科 ■ 毎週木曜日午前(受付時間 8:40~11:30)

※ご予約なしで受診できます。

は せ け い た ろ う

担当医師 ■ 長谷敬太郎 (北海道大学眼科学教室特任助教/日本眼科学会認定専門医)